

## ノバルティス、糖尿病黄斑浮腫に対する「ベオビュ®」の欧州委員会EC承認取得を発表

Apr 22, 2022

### プレスリリース

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

この資料は、ノバルティススイス・バーゼルが2022年3月31日現地時間に発表したものを日本語に翻訳要約したもので、参考資料として提供するものです。資料の内容および解釈については、英語が優先されます。英語版は、<https://www.novartis.com>をご参照下さい。

- 糖尿病黄斑浮腫(DME)は先進国の成人における失明の主な原因である。DMEに関するアンメットニーズには、網膜の滲出液減少のさらなる改善や頻回な治療の負担軽減などがある<sup>1, 2</sup>
- 欧州委員会(EC)の承認は、DME患者を対象に「ベオビュ®」(一般名：プロルシズマブ6mgとアフリベルセプト2mgを比較した第III相臨床試験であるKESTREL試験およびKITE試験の1年目のデータに基づく<sup>2</sup>)
- KESTREL試験とKITE試験では、「ベオビュ」はベースラインからの最高矯正視力(CVA)の変化においてアフリベルセプトに対して非劣性を示し、滲出性変化(IRF/SRF)が認められた患者の割合も低値を示した<sup>2</sup>
- KESTREL試験およびKITE試験は、6週間隔の導入期投与期間において抗血管内皮増殖因子(VEGF)を評価した最初のピボタル試験であり、「ベオビュ」は投与開始から1年目までの期間における投与回数を減少できる可能性を示唆<sup>2</sup>
- 「ベオビュ」は中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性(nAMD)の治療薬としてEUを含む70カ国以上で承認取得

2022年3月31日、スイス・バーゼル発

-ノバルティスは、本日、欧州委員会(EC)が、糖尿病黄斑浮腫(DME)による視力障害の治療薬として「ベオビュ」(一般名：プロルシズマブ、以下「ベオビュ」)6mgを承認したと発表しました。今回のDMEに対する適応追加は、2020年にnAMD治療薬として「ベオビュ」が初めてEC承認を取得して以来となります<sup>3</sup>

。EC承認は、欧州連合(EU)の加盟国全27カ国と、アイスランド、ノルウェーおよびリヒテンシュタインに適用されます。

EC承認は、第III相無作為化二重盲検臨床試験であるKESTREL試験およびKITE\*

試験の1年目のデータに基づいており、主要評価項目である1年目の最高矯正視力(BCVA)のベースラインからの変化において、アフリベルセプトに対する非劣性が示されました<sup>2</sup>。いずれの試験においても、導入期投与後におけるプロルシズマブ6 mg群の患者の半数以上KESTREL試験で55.1%、KITE試験で50.3%は1年目において12週間隔投与を維持しました<sup>2</sup>。

。アフリベルセプト群については、EUで承認されている添付文書の記載に則り1年間の投与が行われました<sup>2,4</sup>。

。全体として、52週目における網膜内滲出液、網膜下滲出液またはその両方が認められた患者の割合は、プロルシズマブ群のほうがアフリベルセプト群よりも低値を示しました。KESTREL試験では、プロルシズマブ群60.3%対アフリベルセプト群73.3%、KITE試験ではそれぞれ54.2%および72.9%。統計学的有意差の検証はされていません<sup>2</sup>。)

承認された用法では、DME患者に対して、導入期投与期間において6週間隔で5回投与した後、医師は視力および滲出液の状態によって疾患活動性を評価し、個別化された治療方法を勧めることが可能です<sup>3</sup>。

。疾患活動性が無い場合は、医師は「ベオビュ」の12週間隔投与を検討し、疾患活動性を有する場合は、8週間隔投与が検討<sup>\*1</sup>されます<sup>3</sup>。

ノバルティス ファーマの眼科領域医薬品開発部門のグローバルヘッドのJill Hopkinsは次のように述べています。「DME患者さんの多くは働き盛りの年齢で、糖尿病に関連する複数の合併症を管理する必要があり、治療の継続において負担を感じている場合もあります。KESTREL試験およびKITE試験は、6週間隔の導入期投与期間において抗VEGFを評価した最初のピボタル試験であり、『ベオビュ』は治療開始から1年目までの投与回数を減らせる可能性を示唆しました<sup>\*2</sup>。

。DMEに対する『ベオビュ』のEC承認は、アンメットニーズへ応える一助になる可能性があることから重要なマイルストーンであると考えています。」

KESTREL試験およびKITE試験で1年目において、最も多く見られた眼球および眼球以外に生じた有害事象（5%は、結膜出血、鼻咽頭

炎および高血圧でした<sup>2</sup>。KESTREL試験の眼内炎症IOIの発現率は、プロルシズマブ3

mg群で4.7%網膜血管炎1.6%を含む、プロルシズマブ6

mg群で3.7%網膜血管炎0.5%を含む、アフリベルセプト2

mg群で0.5%でした<sup>2</sup>。KITE試験におけるIOI発現率は、プロルシズマブ6 mg群とアフリベルセプト2

mg群で同等であり1.7%、網

膜血管炎は報告されませんでした<sup>2</sup>。

。網膜血管閉塞については、KESTREL試験においてはプロルシズマブ3

mg群では1.1%、プロルシズマブ6 mg群では0.5%が報告されており、KITE試験では、プロルシズマ

ブ群およびアフリベルセプト

群は共に0.6%の発現率が報告されました<sup>2</sup>。

。これらの事象

の大部分は管理可能であり、通

常の臨床治療により解消されました<sup>2</sup>。

。KESTREL試験では、ベースラインから15文字以上視力低下した患者の割合は、プロルシズマブ3

mg群で1.6%、プロルシズマブ6

mg群で1.1%、アフリベルセプト群で1.7%でした<sup>2</sup>。プロルシズマブ6

mg群は「ベオビュ」の承認用量です<sup>3</sup>。

ノバルティスは、「ベオビュ」によるベネフィットを患者さんにお届けすることに尽力しています

。「ベオビュ」のDME適応については、現在、米国食品医薬品局FDAおよび日本の医薬品医療機器総合機構RMDAにおいて審査中です。その他の保健当局との「ベオビュ」に関する協議も進行中です。

\*1 用法用量は各国の添付文書を参照

\*2

アフリベルセプトの投与は、治療1年目にEUで承認されている添付文書の記載に則った投与が行われた

## KESTREL試験とKITE試験について

KESTREL試験およびKITE試験は、DMEによる視力障害を有する患者を対象とした「ベオビュ」とアフリベルセプトの安全性および有効性を2年間比較検討した国際共同無作為化二重盲検第III相臨床試験です<sup>5,6</sup>。

### KESTREL試験

およびKITE試験には、併せて3

6カ国から926名の患者が参加しました<sup>5,6</sup>

。両試験の導入期投与期間において、「ベオビュ」の患者群には6週間隔で計5回の投与がされました。アフリベ

ルセプト群は、添付文書の

記載に従い、4週間隔で計5回投与されました<sup>5,6</sup>

。試験の最初の1年間、「ベオビュ」の患者群には、導入期投与後12週間隔投与が続けられ、その中で疾患活動性を示した患者

については8週間隔投与に切り替えられました<sup>5,6</sup>

。アフリベルセプト患者群は、導入期投与後、8週間隔投与を受けました<sup>5,6</sup>。

## 糖尿病黄斑浮腫(DME)について

DMEは糖尿病患者によくみられる微小血管の合併症であり、視力を低下させ、最終的に失明に至る可能性があります<sup>1</sup>

。DMEは先進国における成人の失明原因の第1位であり、1型糖尿病患者の12%、2型糖尿病患者の28%が罹患しています<sup>1</sup>。

### 糖尿

病に伴う

高血糖により、眼

の中の細い血管を傷つけられ、滲出

液が生じる場合があります<sup>1</sup>

。この損傷により、血管内皮

増殖因子VEGFが過剰に産生されます<sup>1,7</sup>

。VEGFは血管の成長を促す蛋白質です<sup>1,7</sup>

。DME患者

のVEGF濃度が上昇する

と、漏出性のある異常な血管の増殖が誘発され

ます<sup>1,7</sup>

。黄斑部における滲出液の蓄積浮腫は疾患活動性の重要なマーカーであり、視力喪失の原因となりえます<sup>1,7</sup>

。黄斑とは、網膜の中で鮮明な中心視力を

担う部位です<sup>1,7</sup>

。DMEの初期症状には中心視力のかすみ、視覚の歪み、色覚異常などがありますが、早期段階では無症状で進行することもあります<sup>7,8</sup>。

## 「ベオビュ」(一般名：プロルシズマブ) 6mgについて

「ベオビュ」(一般名：プロルシズマブ、開発コード：RTH2586) 6mgはnAMDの治療薬として、米

国、EU、英

国、日本、カナダ、オー

ストラリアを含む70カ国以上で承認されています<sup>3,9-12</sup>

。また2022年3月には、欧州委員会(EC)によって糖尿病黄斑浮腫(DME)の治療薬としても承認され、欧州連合全27カ国の加盟国とアイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタインに適用されました。さらに、nAMD、糖尿病黄斑浮腫(DME)および増殖糖尿病網膜症(PDR)を有する患者を対象としてプロルシズマブの有効性を検討する臨床試験が現在実施中です。

## ノバルティスの眼科領域の取り組みについて

ノバルティスのミッションは、人々の命や健康のために医薬の未来を描くことです。眼科領域においては、データや革新的な技術に基づく医薬によってさまざまな眼の疾患や状態の治療を目指しています。未熟児から高齢者の患者さんまで、

年間1.5億人に当社眼科領域の医薬品をお届けしています。

\*Kite Pharma, Inc. は、ノバルティスのKITE試験には資金提供を含め、関わりはありません。

## ノバルティスについて

ノバルティスは、より充実したすこやかな毎日のために、これからの医薬の未来を描いています。私たちは、医薬品のグローバルリーディングカンパニーとして、革新的な科学とデジタルテクノロジーを駆使し、医療ニーズの高い領域で変革をもたらす治療法の開発を行っており、新薬開発のために、常に世界トップクラスの研究開発費を投資しています。ノバルティスの製品は、世界中の8億人以上の患者さんに届けられています。また、私たちは、ノバルティスの最新の治療法に多くの人々がアクセスできるように革新的な方法を追求しています。約11万人の社員が世界中のノバルティスで働いており、その国籍は140カ国以上におよびます。詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.novartis.com>

以上

ノバルティス、糖尿病黄斑浮腫に対する「ベオビュ」<sup>®</sup>の欧州委員会(EC)承認取得を発表(PDF 0.2 MB)

## 参考文献

1. Romero-Aroca P. Managing diabetic macular edema: The leading cause of diabetes blindness. *World J Diabetes*. 2011;2(6):98-104.
2. Brown D, Wolf S, Garweg JG, et al. Brolicizumab for the treatment of visual impairment due to diabetic macular edema: 52-week results from the KESTREL & KITE studies. Presented at: The Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) 2021 Annual Meeting. May 2021.
3. Beovu [summary of product characteristics] Basel, Switzerland. Novartis: 2020.
4. Eylea [summary of product characteristics] Berlin, Germany. Bayer AG: 2014.
5. Data on file. KESTREL clinical trial protocol (CRTH258B2301). Novartis, 2021.
6. Data on file. KITE clinical trial protocol (CRTH258B2302). Novartis, 2021.
7. National Eye Institute. Macular Edema. Available at: <https://www.nei.nih.gov/learn-about-eye-health/eye-conditions-and-diseases/macular-edema>. Accessed March 2022.
8. National Eye Institute. Diabetic Retinopathy. Available at: <https://www.nei.nih.gov/learn-about-eye-health/eye-conditions-and-diseases/diabetic-retinopathy>. Accessed March 2022.
9. Beovu [US prescribing information] East Hanover, NJ. Novartis: 2020.
10. Pharma Japan. National Health Insurance Pricing. Available at: <https://pj.jiho.jp/sites/default/files/pj/document/2020/05/New%20Drugs%20to%20Be%20Added%20to%20NHI%20Price%20List%20on%20May%202021.pdf>. Accessed March 2022.
11. Canadian Agency for Drugs and Technologies in Health. CADTH Canadian Drug Expert Committee Recommendation. Available at: <https://cadth.ca/sites/default/files/cdr/complete/SR0632%20Beovu%20-%20CDEC%20Final%20Recommendation%20%E2%80%93%20May%2025%2C%202020for%20posting.pdf>. Accessed March 2022.
12. Beovu [prescription medicine decision summary] Australia. Novartis: 2020

---

Source URL: <https://prod1.novartis.com/jp-ja/news/media-releases/prkk20220422>

#### List of links present in page

- <https://prod1.novartis.com/jp-ja/jp-ja/news/media-releases/prkk20220422>
- <https://www.novartis.com>
- <https://prod1.novartis.com/jp-ja/jp-ja/sites/novartisjp/files/2022-05/pr20220422.pdf>
- <https://www.nei.nih.gov/learn-about-eye-health/eye-conditions-and-diseases/macular-edema>
- <https://www.nei.nih.gov/learn-about-eye-health/eye-conditions-and-diseases/diabetic-retinopathy>
- <https://pj.jiho.jp/sites/default/files/pj/document/2020/05/New%20Drugs%20to%20Be%20Added%20to%20NHI%20Price%20List%20on%20May%202021.pdf>
- <https://cadth.ca/sites/default/files/cdr/complete/SR0632%20Beovu%20-%20CDEC%20Final%20Recommendation%20%E2%80%93%20May%2025%2C%202020for%20posting.pdf>